

## 南小たば風通信 2019

令和元年11月26日 第24号

## 学校教育指導の準備をよろしくお願いします！

昨日の研究日、お疲れさまでした。子どもたちが楽しく学習できるといいなあと思います。今回の板書交流（事前研修）で話題になったことをまとめましたので、お知らせします。

- 高学年の指導事項から「自分の考えをまとめる」「目的に応じて」を大切にす。
- 今回は、『雪わたり』の読みを生かして図書の推薦につなげる。
- 図書の推薦については、形式を絞らず、「あらすじ」や「登場人物の紹介」などの書く内容の中から子どもたちが選択してまとめていく。
- 「あらすじ」の確認には、絵カードなどでわかりやすくする。
- 好きな場面は「変化前」「変化のきっかけ」「変化後」とし、登場人物の動きに絞る。

稲船先生、当日までの準備、当日の授業をよろしくお願ひします。また、「公開研究会の後なので、研究の積み重ねとして授業を行っていくことが大切」と、校長先生からもありました。特設授業だけでなく、公開授業に関しても同じことが言えると思います。実践を積み重ねて頑張っていきましょう！（公開授業の指導案については、水曜日の放課後をめぐりに準備をお願いします。）



## 学校教育指導の事後研について

グループごとに協議を行い、仮説の検証と今後の研究の方向性についてまとめておきたいと思ひます。

【グループ】 \_\_\_\_\_ の先生がまとめの報告をお願いします。

- A 島村先生 荒谷先生 星先生 庄山先生 教頭先生 増田先生  
B 稲船先生 飯高先生 十河先生 校長先生 牛谷内先生  
C 佐藤先生 加藤先生 齋藤先生 三上先生 上野先生 山本

## <研究協議の柱>

### 討議の柱 単元計画や本時が仮説を検証できるものとなっているか。

《仮説》〇指導事項を明確にし、適切な対話を位置づけることで、子どもたちが課題に対して粘り強く取り組むことができるだろう。

〇各単元に、適切な言語活動を設定し、目的意識をもたせることで、「つけさせたい力」が確実に身につくだろう。

## <事後研の流れ>

◆14:20~15:20 サブルーム 全体司会：荒谷先生 記録：山本

① 授業者から（稲船先生） 10分

② 質問（全体で確認したいことなど） 5分

③ グループごとに話し合い 30分

・付箋を貼りながら、.....の方を中心に話し合いを進めてください。

・最終的にグループでどんな話し合いがされていたか、5分ほどで話してもらいます。進行の方は話を進めながら、意見をまとめておいてください。よろしくお願いします。

（ピンク→よい点 水色→改善点・改善案）

④ 各グループの発表（5分程度） A→B→C 15分

## 今後の研究の流れについて

次回研究日は、12月18日（水）です。今年度、先生方に参加していただいた研究会についての報告会を行います。これまでのたば風通信で報告されていますが、質疑応答を含め、1人10分以内の報告を行いたいと思います。



また、12月9日（月）4校時に2年生学級で飯高先生による『ないた赤おに』での交流授業を行います。

参観された先生方に感想を書いていただき、「たば風通信」でお知らせしていきます。